



真保家の田んぼ 田植えから半月たちました



今はまだあまり稲の変化はありません

二十四節気 小 満 しょうまんー 暖かくなり植物がよく育つ頃  
万物の成長する気が天地に満ち始めること

当地の田植えは、ほとんど終わりました。  
大型連休中は、比較的天気も良く、皆さん田植えは順調だったようです。  
ところどころ、大規模生産者の田植え前の田んぼが残っているといった感じです。

## ◎◎ 田植えがおわりました ◎◎

5月も下旬になります。  
ほとんどの農家の田植えは終わり、大規模な面積を  
経営している生産法人も田植えが終わったという  
ところも増えてきました。

先週の前半は、田植えの際に欠株になった箇所を  
補植している農家の姿を多く目にしました。  
今の時期、私は各農家のところへ出向き、  
今秋のお米の出荷契約書の回収に伺っています。

新潟市南区の生産者、神林さん、夏川さんも  
今秋の出荷契約書の回収に伺うと自宅近くの  
田んぼで補植をされていました。

同じく南区の生産者の西山さんのところへ伺った際は  
田植えが終わった後片づけをされており、苗箱の  
洗浄をされているところでした。



補植している夏川さん



苗箱を洗浄する機械



田んぼを眺める神林さん



田植えの終わった神林さんのたんぼ

また、各農家の皆さんは、午前と夕方、毎日田んぼの水管理に出向いています。田んぼの水は、太陽光によって温められ、気温が低くなる夜間も温度を保ち、稲の生長を助けてくれています。

田んぼの水は、畦からの漏水や、地下へ浸透して減っていきます。

そのため、田んぼの畦を歩いて見て回り、水の量は適切か、漏水している箇所がないか等、確認する必要があります。

今はまだ、田植え当初とあまり変わらないような稲姿ですが、次回の産地通信の頃には、それぞれ1本の茎だったものが、生長が進むにつれて、根本付近から新芽が出て枝分かれし、茎が増えていく「分けつ」が進んでいると思います。約2週間の間に稲は一気に生長するので、楽しみにしててください。

3歳の私の息子は花が好きです。

2週間に1度、近所の花屋と一緒に買いに行きます。

自分で1本1本ショーケースの中の花を店員さんに注文をして、帰ってきてからどの花瓶にどれを活けるのか組み合わせも考えます。

子供なので選ぶのに時間がかかったりして、店員さんの作業を止めてしまいましたが、毎回、親切に息子の対応をしてくれて感謝しています。私がか子供の頃は、花を買いに行ったり、活けたりした記憶はないので、小さいながらに良い趣味を持っているなど感心しています。

恥ずかしながら、息子が花を好きになってくれたおかげで、我が家も常に花を飾っておく習慣ができました。

営農担当 阿部



息子が活けた花です